

**意識して
使いたい言葉**

- すごいね
- がんばったね
- ありがとう
- いいね
- だいじょうぶ
- ~してくれて
うれしいな

「賞賛」「励まし」「共感」
「承認」「応答」など、年齢を
問わず、肯定的な言葉がけを
心がけます。

推進事項 【保 育】

【保育所保育指針】 「全体的な計画」を不断に見直し、保育の質の充実を図る。

- (1) 体験を通し多様で変化のある学びを工夫する。
- (2) 日々の「あそび」を振り返る。
- (3) 「全体的な計画」を理解し、実践と関連づける。

【育ちの姿】 豊かな経験と「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。

- (1) 子どもの主体的な「あそび」を保証する。
- (2) 個人の記録、作品、写真など、育ちの姿を見える化する。
- (3) 多様な機会、人材を活用し、「本物」に触れる。

【基本的生活習慣】 心と体の健やかな成長を支え、基本的生活習慣の定着を図る。

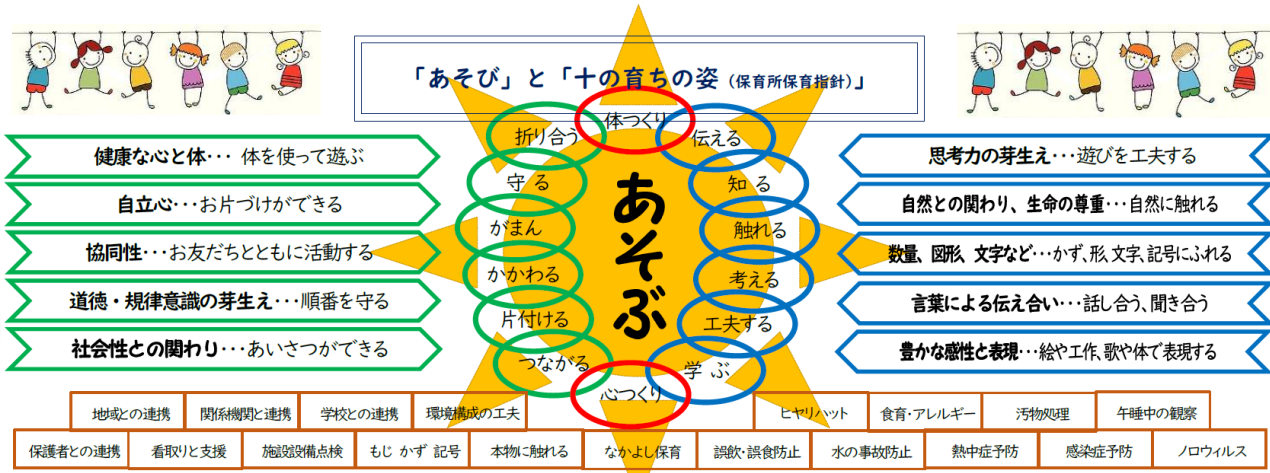
- (1) 粘り強く、きめ細かく、「待ち」の姿勢で支援する。
- (2) 保育士自身が子ども一人一人の育ちの違いを自覚する。
- (3) 特別な配慮を要する子どもを理解し、全職員が共通した支援体制で取り組む。

【個性の伸長】 一人一人が認められ、大切にされる言葉がけで臨む。

- (1) 子どもの育ちに合わせ「日の出スタンダード(例:挨拶、返事、聞く姿勢など)」に取り組む。
- (2) 子どもの心に寄り添う望ましい言葉がけを工夫する。
- (3) チーム保育を自覚し、子どもを多面的に支援する。

【専門性】 専門性向上を自覚し、質の高い保育実践を進める。

- (1) 園外研修を通し、スキルアップする。
- (2) 園内研修を通し、重要な課題、実践的な内容を工夫する。



【育みたい資質・能力】 ○知識・技能の基礎 ○思考力・判断力・表現力等の基礎 ○学びに向かう力・人間性等 (保育所保育指針)

※上記の内容は例示です。重点ではありません

※「十の育ちの姿」は、到達目標ではありません

1 保育理念
豊かな可能性を内に秘めた子ども一人一人に、
思いやりの心を育て、これからの社会をたくましく
生き抜く基礎を培う。

2 保育方針
一生に一度のこの時期を日の出保育園で過ごせて
良かったと語り継がれる保育園でありたい。そのため、
「安心」と「安定」をキーワードに、最善の保育
環境を整え、子どもにとって、家庭と同じように心の
居場所となるようきめ細かな経営の充実をめざす。

- “安定”とは、保育者の視線が、子どもに注がれ、常に、質の高い保育サービスを提供できる保育園であること
- “安心”とは、保護者にとってあずけて安心、子どもにとって安らぎの気持ちで安心できる保育園であること

**使わないように
したい言葉**

- 早くして 急いで
- それ、やめて
- だめ だめだよ
- まだできないの
- ~しなかったら、
~できないよ

「否定」「禁止」「制止」
「追及」「命令的」「脅迫的」
などの表現は控え、「してほしいこと」を具体的に伝えるようにします。

推進事項 【組織・運営】

【保護者支援】 保護者の願いや期待に応える受容的、共感的な子育て支援を進める。

- (1) 送迎時の声かけ、便り、ボード、連絡帳など、情報共有による信頼関係づくりをする。
- (2) 保護者の声に耳を傾け、保育所保育の改善に生かす。
- (3) 内容の軽重を問わず、親身に、迅速に、組織として応える。

【連携・共生】 情報発信を工夫して、家庭や学校、地域、関係機関との連携を図る。

- (1) 学校訪問や教員との情報交換など、小学校との連携の形を継承し、円滑な接続に生かす。
- (2) HPや便り、行事の公開や職業体験受入れなど、地域における公益的な役割を果たす。
- (3) 関係機関等の専門性を活用し、緊密な連携の下、諸課題の解決につなげる。

【振り返り】 振り返りを習慣化し、常に保育所保育の改善を図る。

- (1) 振り返りは、[評価(check)-改善(action)-計画(plan)-実施(do)]を基本とする。
- (2) 運営評価から課題を整理し、目に見える改善策に取り組む。
- (3) 評価結果、改善点等を公表し、満足度の高い保育園を実現する。

【危機管理】 法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。

- (1) 一人一人の「ヒヤリハット」を共有し、日常の安全管理を徹底する。
- (2) 子どもの命を最優先に、感染症、防災、アレルギーなど最新情報に基づく運営を進める。
- (3) 会計、文書管理、個人情報など、公私にわたり社会福祉法人として責任を遵守する。

【職場づくり】 自覚ある社会人として、最初から最後まで全員で課題解決に当たる。

- (1) 諸会議、職員面談、日常的な情報交換などを通じて、双方向で「気付き」を伝えあう。
- (2) 「報告・連絡・相談」を徹底し、全職員で着実に課題解決を図る。
- (3) 個々の事情を尊重し合う一体感のある職場づくりを目指す。

